

陶然会 たより

2008年7月
No.23

もっ夏本番のことく暑いですね。このまま暑いのが続いたら、とうとう夏バテがやってくるかも。お気を付けてください。

第36回陶然会のご報告

第36回陶然会は2008年5月18日に開催されました。参加人数は、大人16名とお子様4名。天気もよく、絶好の行楽日和。わいわいと作品を作ったあとは、工房横でバーベキューを行いました。お肉は近くの三田牛のお店で買って来たもので、みんなでお肉が焼けるたびに争奪戦です。それがまたおいしさを倍増させますよね！締めは、定番の焼きそば！！皆様のご協力楽しく過ごすことができました。



バーベキューの様子です。
椅子付きテーブルも工房のものです。
自然の中でお肉を食べる！まずい訳がありません！！

下の写真は、前回作って焼きあがったものです。陶然会お便り担当の西川が昨年結婚をしましたので、メンバーの方々が素敵な食器を作ってプレゼントして下さいました。



2

ほとんど毎日使っています。下手くそな料理もなんだか美味しく見えますよ。

これは何だかわかりますか？表札ですよ。ご家族の皆さんのお名前が入ってます。どんな風に焼きあがるか楽しみですよね！

3

わび「侘への道」第5回

陶然会メンバー村井健三様より

器の歴史について、お勉強するコーナーを連載致します。

次回の第37回陶然会は8月9日(土)です。

連絡

今年も11月に
展覧会開催を
計画しています。

6. 奈良三彩
窯の温度が1,250 を超えると、燃料の木炭が溶融剤となって粘土中の長石を溶かしてガラスを造り、黄や緑のガラス質が器面を覆うのを自然釉という。日本の須恵器でも自然釉の美しいものは多く出来たが、素材をどれだけうまく人為的に変えるかという中華料理と、自然の恵みの素材の良さをどれだけ引き出せるかという和食の違いのような

ものである。朝鮮半島BC4世紀頃から高句麗で始められた緑釉の技術が7世紀の後半に導入され、8世紀に中国から唐三彩が導入されて、奈良三彩が出来た。緑釉は鉛を溶融剤にして800~900 で長石を溶かした鉛ガラスの一種で、これに銅を加えると緑色に発色する。

案内状兼申し込み用紙をこのお便りと共に配布致します。興味を持たれた方は、ぜひ気軽に参加してみてください。陶芸をしたことのない方、お子さん、ご夫婦やお友達同士等、皆様大歓迎です！お待ちしております。

-次回へ続く-

陶然会 事務担当
(株)構造総研 辻

陶芸同好会「陶然会(とうぜんかい)」

(土捻りを通じて自然と触れ合う会)

第37回開催のご案内

夏休みのご予定はもうお決まりですか？ まだ...という方は、ぜひ陶然会に参加しませんか？ 初めての方でも大歓迎です！夏の暑い日にヒンヤリ冷たい土を触って遊びましょう。皆さんお誘い合わせのうえ、奮ってご参加下さい。

日 程：8月9日(土曜日) 午前9:45 現地集合

参加費：陶芸代のみ¥2,000.- (陶然会維持費 別途100円)

場 所：篠山市今田町上立杭・大熊窯 TEL0795-97-2345

舞鶴自動車道三田西より20分 JR福知山線相野よりバス

指 導：大熊窯 大上 巧先生

服 装：土間で土いじりができる程度の服装を準備して下さい。

ジーパン・割烹着など

道 具：基本的な物は工房にあります。何でも道具になります。

スプーン、ペーパーナイフ、お椀、空き缶、荒い布等

申し込み先 FAX06-6767-8940 E-mail info@kozosoken.co.jp

事務担当 (株)構造総研 長谷川・辻 (TEL06-6767-8941)

主 催 (社)大阪府建築士事務所協会 第七支部支部長 川上武治
世話役 一級建築士事務所 ZAP(ザップ) 林 茂

FAX番号の押し間違いのないようお願い致します

申込書(希望を で囲んでください)

締め切りは8月8日

必要事項を記載の上、FAX又はE-mailで御返信下さい

第37回陶然会に

・参加

・不参加

事務所名

所属支部

氏 名

TEL

FAX

E-mail